

Serum uric acid levels and long-term outcomes in chronic kidney disease.

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2016-01-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 宮岡, 統紀子 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/31332

様式 (6)

学 位 審 査

学 位 番 号	甲 第 607 号	氏 名	宮岡 統紀子
審 査 委 員 会	主 査 教 授	新田 孝作	
<p>論文審査の要旨 (400 字以内)</p> <p>本研究の目的は、慢性腎臓病 (CKD) 患者における血清尿酸値と長期予後および CKD の進行との関連性について検討することである。</p> <p>CKD stage2-4 の患者 511 人を対象とし、血清尿酸値と全死亡率、心血管死亡率、末期腎不全および 50%以上の糸球体濾過量 (eGFR) 低下との関連性を評価した。</p> <p>6 年間の観察期間において 31 人が死亡し、19 人が心血管関連死であった。血清尿酸値と全死亡率、心血管死亡率、末期腎不全および 50%以上の eGFR 低下の間には関連性を認めなかった。また、高尿酸血症群 (尿酸値 > 7.0 mg/dl またはアロプリノール治療) を正常群と比較した。性別、喫煙、心血管リスク因子、腎疾患背景因子、アロプリノール治療などの調整を行ったところ、全死亡率と心血管死亡率は高尿酸群で有意に高かったが、末期腎不全と 50%以上の eGFR の低下については有意差を認めなかった。</p> <p>高尿酸血症の存在が CKDstage2-4 の患者において全死亡率、心血管死亡率に関与していることが示された。</p> <p>本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に学務部医学部大学院課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]</p>			